

### 地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	伊勢原市役所		代表者名	高山 松太郎
担当者部署	情報政策課		連絡先電話番号	0463-94-4550
担当者役職	主任主事	担当者氏名	大場 康司	連絡先E-mail
住所	259-1188 神奈川県伊勢原市田中348番地			

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	標準化へ向けて、自治体としての考え方、システムベンダーとの調整、オンライン申請、RPAに至るまで、講師のこれまでの経験を基に話された内容について大変興味深かった。伊勢原市の状況や、考え方とのギャップも感じた部分があったが、外部の立場からの意見も含め、こういった取組方針が伊勢原市にとって最適なのかを考えることができた。
アドバイザーへの要望事項	当日の講演会においては業務担当者が対象となるので、担当者の目線で取り組み方や考え方をご教示いただければと思います。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年12月14日	13時30分	15時00分		90
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	情報政策課職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	各業務担当者は現時点で何をすれば良いのか、標準業務に含まれていない業務はどうするのか等不安の声があった。現時点では標準仕様書が公開されていない業務（第2グループ）もあるが、まずは現状の業務を整理し、見える形（業務フロー）に落とし込み、その上で標準仕様との比較・分析を行い、運用の見直しや、業務の必要性等の検討が必要であると考えている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	標準17業務担当者を対象に、標準化対応を行う上でやるべきこと、現行の業務洗いだし、業務フローの整備、業務分析手法などの講演を実施し、受講者がより実践的な知識・技術が得られるような機会を提供していただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	講演会当日に向けての内容の調整（伊勢原市の状況把握）や、アドバイザーのこれまでの経験を基に、標準化対応に向けて何をすべきか、考え方をご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	今回は、講演会当日に向けての内容の調整（伊勢原市の状況把握）がメインでしたが、当初課題として挙げていた業務フローへ落とし込むことは必ずしも必要ではなく、現行システムにおける機能を洗い出すことが重要であるといったこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	今回の打ち合わせ内容及び、アドバイザーより提出いただく講演資料を基に、次回業務担当者に向けて講演会を実施する。	

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>講習会当日の事前打ち合わせ的な意味合いの支援でしたので、アンケートは実施していない。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	<p>標準17業務において、標準化システムに対応した業務の最適化がなされており、業務に関するドキュメントが整備され、適切に更新できる体制が整備されている状態。また、将来的には17業務に限らず、業務の見直し、最適化が全庁的になされている状態。</p>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

